

校訓	盡己	令和2年度学校通信 「松崎中だより」 第9号	発行日	令和2年10月20日
教育目標	すべてのことに全力で取り組む生徒の育成 「一生懸命勉強する」「優しい心を持つ」「感動する」生徒の育成		発行者	伊丹市立松崎中学校 校長 佐藤 幸宏

第3学年校外学習

10月2日、3年生が淡路島で校外学習を行いました。震災を中心に事前学習を行った上で、班別行動をしました。まず震災記念公園で阪神淡路大震災について学び、淡路花さじきで自然の雄大さに触れ、その後各班の計画した行程に沿って島北部を練り歩きました。テーマは「感謝」。私は、この言葉にどのような気持ちが込められているか興味を抱きながら参加しました。



各班続々と到着した「ハイウェイオアシス」では、指を折りながらお土産を買う人、現地ならではの食事の選択に悩む人、ひたすら山や海を見る人など、様々な姿がありました。しばらくすると、きれいな音色とともにグランドピアノの周りに3年生の人だけができ、ミニコンサートが始まりました。優雅な心地よい時を過ごすことができました。最終地点「道の駅あわじ」では、タマネギ入りの重たい袋を抱えながら淡路の良さを説明してくれた人、残金を確認した上で海鮮丼の注文に走る人、ひたすら海を見る人など、ここでも様々な姿に出会うことができました。帰路のバス中の静けさは、班別行動の充足感と実際の歩行距離の長さを物語っているようでした。他学年の先生方のお出迎えを受けながら、皆赤らんだ頬と爽やかな挨拶で帰校しました。そして、評議委員が主体となり進めた解散式を見て、校外学習を無事終えた充足感を感じました。3年生に感謝するとともに、次は「秋の遠足」「トライやる・デイ」で、1、2年生の新たな姿に出会えることを楽しみにしています。

生徒会本部役員選挙・認証式

8日、オンラインによる後期生徒会本部役員選挙が行われました。一つの役職に複数の立候補もあり、立会演説会も熱がこもりました。候補者は緊張しながらも自らの言葉で画面を通して公約を示しました。



教室では、各演説を聞き入る中で自然と拍手がわき起こるクラス、立候補者が演説会場に行く時ガッツポーズで見送るクラスなど様々で、体育館で行う演説会とはまた違った雰囲気を感じました。

し出していました。9日には学級役員選挙が行われ、後期の組織が確定しました。これまで、岡会長をはじめ前期生徒会本部役員には、コロナ禍の大変な中にも関わらず、全校生の日々の学校生活を支え、松崎中学校の未来を創るために日々奔走してくれたことに感謝しています。

16日の認証式では、開会の号令を新生徒会長の亀井くんが行い、後期へのバトンが確実に引き継がれたのを感じました。生徒会活動は自治活動であり、「皆のために」「現状に即して」を念頭においた取組です。45年目を迎える本校では、会長をはじめ後期の生徒会本部役員は90代目となります。単純計算では、これまで約890名の元本部役員の先輩たちのあゆみを引き継ぎ、新たな取組も進めることとなります。重責ではありますが、やりがいのある役職です。この経験により視野を更に広げてくれることを期待しています。また、各学級役員も含め、後期は年度の折り返しとしての実り多き期間、そして次年度につなげる重要な役割も担っています。生徒会活動を盛り上げ、思い出に残る、素晴らしい学級、学年、学校にしてほしいと思います。

教育実習が始まります

19日より11月6日までの3週間、教育実習としてお世話になる3名の先生方を紹介します。

平野智美先生、教科は音楽で2年2組に所属します。指導教官は、教科が竹先生、学級が古米先生です。次に、那須楓香先生、教科は保健体育で2年1組に所属します。指導教官は圓井先生です。次に、清水脩斗先生、教科は保健体育で1年6組に所属します。指導教官は黒川先生です。教育実習というのは、教員免許を取得するために必ず行う実習です。3名の先生方には、3週間を通して様々なことを学んでもらいます。また、3名ともにこの松崎中学校の卒業生ですので、生徒の皆さんにとっては、松崎中学校の歴史等を知るいい機会ともなります。3名の先生方からたくさん学んでください。

コロナウイルス感染症予防に向けて！

- ・朝の検温、風邪症状の有無等の健康観察
- ・石けんを使ったこまめな手洗いの徹底
- ・咳エチケットの徹底（マスクの着用）
- ・健康管理（十分な睡眠、適度な運動、バランスある食事）
- ・不要不急の外出を控える
- ・三密（密閉、密集、密接）を避ける

